

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和6年11月1日 VOL.196

“第13回医療・介護・福祉フォーラム2024” 自分らしく最期を迎えるために ～エンディングノートで終活を！～

「“第13回医療・介護・福祉フォーラム2024”」

【共催：志太医師会（会長：森泰雄氏）・藤枝市】

日時：令和6年10月27日（日）10時～12時

場所：生涯学習センター 第一会議室



講師：中村 伸一氏

おおい町国民健康保険名田庄診療所所長

主な著書：『入門！自宅で大往生-あなたもなれる「家逝き」達人・看取り名人』、『寄りそ医-支えあう住民と医師の物語-』

来場者は60人、Web視聴は60件でした。

講演内容の一部を紹介



今まで、中村先生が関わった多くの患者のエピソードが紹介され、「食べられなくなったら①自然に任せる、②点滴、③高カロリー輸液、④胃ろう、どれを選びますか？」という参加者への問いかけや、実際に「想いつむぎノート」に参加者が記入する時間がありました。

最後に「介護する人も、介護される人も「感謝することが幸せ」というメッセージが印象的でした。

参加者の感想から

- ・自分のこれからの生き方、周りの人（家族や子供、知人）とのかかわり方を考え直すきっかけをいただきました。（50代）
- ・大変楽しい講座でためになりました。笑ったり、泣いたりでよかったです。（70代）
- ・「想いつむぎノート」はもう数年前に手に入れたものですが、今回の機会ですべて記入できました。（80代）

本市では、志太医師会在宅医療サポートセンター（センター長：山崎健司医師）と協働し、「自分らしい最期を考える集い」などを通して、市民とともに「平穏な最期」や「より良く生きるために」などについて語り、市民と共に学び合う機会を設けていきます。

バックNoの検索は

